

分野別意見交換会報告書 【文教常任委員会】

開催日時： 令和3年(2021年)2月17日(水)15時00分～16時57分

開催場所： 箕面市役所委員会室(本館3階)

団体名： 箕面市体育連盟

会長1名、副会長2名、理事長1名 計4名

出席議員： 神代委員長、田中副委員長、増田委員、大脇委員、山根委員

傍聴者数： 子ども未来創造局保健スポーツ室 3名
(新型コロナウイルスの影響により、関係者のみ傍聴可)

テーマ： 市民スポーツの振興について

番号	項目	内容
	箕面市体育連盟の概要と活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体育連盟の構成:加盟19協会、協会員約5,600名 減少傾向にある。 ・体育連盟の社会教育団体としての主な活動 <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民スポーツの振興と普及(市民体育大会、スポーツのつどい、箕面シニア塾、大人のスポーツトライアルなど) 2. 箕面市主催行事、イベント出務協力(箕面まつり、箕面止々呂美・森町ハーフマラソン、市民スポーツカーニバルなど)
1	箕面市スポーツ振興条例の制定について	<ul style="list-style-type: none"> ・体育連盟からスポーツ振興条例を提案するに至った経緯 2013年に体育連盟の協会に加入している人々だけでなく、市民のライフステージに応じたスポーツ施策を市に提案。 2017年に文部科学省で「第2期スポーツ基本計画(5年計画)」が策定された。箕面市においても、推進計画を打ち出すだけでなく、条例により行政と市民の意識を高めていきたい。 ・市民がスポーツに参加する機会をつくる。 ・各団体は、今まで以上に市民スポーツの発展に努力してもらいたい。 ・箕面市をスポーツで元気にしたい。 ・箕面市は子どもの体力が全国平均より低い。体育連盟からも体力向上に協力したい。 ・市民スポーツを普及発展させるためには、条例制定が望ましいと考える。 ・全国的にスポーツ振興条例を策定している自治体は多くはないが、検討しているところは多い。 ・条例に「審議会設置」を盛り込むのはどうか。 ・総合型地域スポーツクラブとは？ →箕面東コミュニティスポーツクラブ、箕面S.C. 体育連盟との関係は？ →指導者派遣などで協力しあい、地域の人と触れ合っている。 ・箕面市で2001年に策定された『スポーツ振興指針』を、現状に合ったものに見直していく必要がある。 ・市の指針は、市民の役割、各種団体の役割、行政の役割が明確ではない。条例化することにより、市民がスポーツにもっと親しむだろう。 ・今まで、このような議論をしてこなかった。 今後は、将来を見据えたスポーツ、健康施策について、市が目指す方向性を明確にしなければならない。 ・文化や他の分野とスポーツを合わせた条例を策定している自治体もある。 ・議論を重ねて、地域づくり、健康促進、福祉、産業振興など、様々な領域と連携する必要がある。 ・条例が形骸化してはならない。条例の制定がゴールではない。 ・地域活性化につながるスポーツ振興の取り組みが必要。

番号	項目	内容
2	スポーツ推進会議(審議会)の設置について	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の提案理由は、スポーツ団体の総合型地域スポーツクラブ、老人会、障害者のスポーツ団体、有識者等がスポーツ振興について会合を開きたいというもの。 ・箕面市の障害者スポーツの状況は？ →バリアフリー水泳教室、体操教室などがある ・行政の担当部署があるので、市と地域が連携しながら審議会や連絡会という意見交換の場を設けたい。 ・目的は、箕面市をスポーツを通じて元気なまちにする。手段は多様。スポーツに関わる様々な団体やスポーツ特命大使とともに議論を重ねていきたい。 ・審議会は各団体が利益を主張するような場となってはいけない。
3	箕面市議会スポーツ議員連盟の設立について	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会スポーツ議員連盟設立の提案理由 市民の代表である議員が、もっとスポーツについて考えるグループを作っていただきたい。 常任委員会は1年で委員が替わるので、継続して各政策会派で議論できる連盟を作してほしい。 ・箕面市議会の議員連盟は「箕面市ハット市友好議員連盟」がある。 スポーツ議員連盟も、前向きに検討する。
4	スポーツ施設の現状とあり方について	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は箕面市のスポーツ施設はコンディションが悪かった。 2019年に「箕面市スポーツ施設マネジメント計画」が策定され、改修が進み、質が向上した。 ・市民のスポーツ環境の為には、施設が少ない。大会やイベントがあると、複数の団体が重なってしまう。 ・第二総合運動場の駐車場台数が足りない。 水泳水遊場予定地を有効活用できないか。 ・スポーツ施設は市民にスポーツの場を提供すると同時に、プロスポーツを誘致するのも必要。 ・街の歩道にウォーキング、ランニングコースをつくってはどうか。 現在は、歩行者、自転車、一般ランナーが混在して危険なところがある。 ・市内の公園整備も併せてウォーキングコースを考えていきたい。 公園内でのボール遊びを禁止しているが、子どもたちの体力増強の為にも、ルールを作って可能にすれば、ある程度施設不足を補えると考えられる。 ・次年度から公園のリニューアル工事が始まる。10年計画で小学校区ごとに整備される。